

# 〈第5弾〉「世界に誇れる佐賀づくり」に素晴らしいANA人財のチカラを

山口知事がANAホールディングス株式会社片野坂真哉 代表取締役社長と面会し、佐賀県とANAの連携企画「SAGANA（サッガーナ）Project」の状況報告とともに、新企画／第5弾「ANA人財のチカラを佐賀県で」を発表しました。

実施日：11月7日（土曜日） 18時30分～19時

場所：羽田空港第2ターミナル国内線出発エリア

65番ゲート付近

## 〈山口知事〉

「佐賀空港開港以来、辛抱強く5便まで増やしていただき側にいていただいた。言わば我々の仲間。これからもずっと苦しい時だからこそお互い支え合える関係でいたいという思いで、SAGANA Projectを開始した。」

## 〈ANA片野坂社長〉

「非常に熱い応援メッセージをいただき、大変感謝している。SAGANA Project、第4弾のメッセージボードでは、私どもANAグループ社員を直接励ましていただけるということで、非常に力強いメッセージ」。



【山口知事と片野坂社長の挨拶】

## ～第4弾「羽田空港で佐賀の想いを」のメッセージボードに込めた想いの紹介～



【第4弾メッセージを紹介する山口知事】

### 〈山口知事〉

「11月1日から、ANAの皆様へ佐賀県の今の思いということで、あそこに掲げている。雨の日も風の日も雪の日も佐賀の空にはANAがいた。どんな状況でもお客様を一番に思う。その姿を知っているから、私たちも皆様の力になりたい。佐賀はいつでもANAを応援しているというボードを、京急と羽田と2枚掲出させていただいている。ANAの社員の皆さんが勇気づけられたという嬉しい声もたくさん出ている。」



【メッセージボードへの佐賀の想いをANAの皆さんへ説明】

## ～第5弾「ANA人財のチカラを佐賀県で」の計画発表～



【第5弾を説明する山口知事】

### 〈山口知事〉

「第5弾は、佐賀県とANAで社員の派遣を2年程度、10名、佐賀に来ていただくというプロジェクト。人事交流の実績があるので、そういった中で、各部署で想定される業務は、佐賀県は人を大切に世界に誇る佐賀づくりがテーマだが、KIZUKIプロジェクトやオープンエア佐賀プロジェクト、子育てし大県佐賀プロジェクト、森川海人プロジェクトなど様々なプロジェクトなどがある。予定では40歳以下位の若い社員さんに、グローバル企業のANAさんでの様々な経験も生かしていただき、アドバイスもいただきながら、ウィン・ウィンの関係をつくっていききたい。

県の11月補正予算でこの話もさせていただいていて、お互いで人件費など負担をし合いながら、ウィン・ウィンの関係を構築していきたい。」

### 〈ANA片野坂社長〉

「今日この新しいプロジェクトの中で人材を受け入れていただくという話をいただき、非常にありがたいと思っている。観光や芸術などあらゆる分野で可能性があると思うので、しっかり受け止めて準備に入りたいと思っている。」

ANAグループ社員の佐賀県受け入れに対し、ANA片野坂社長も社員の派遣を前提とした考え方を表明され、佐賀県・ANA双方がトップレベルで合意したことを確認しました。



【メッセージボード前で山口知事とANA片野坂社長、旅客係員、グラハンのみなさん】



【山口知事自ら、佐賀県のマスコットキャラクターをANAのみなさんへPR】



#### ◇ エピソード

当日、山口知事は、佐賀で原子力防災訓練を終えた後、羽田着17時40分で上京し、ANA片野坂社長との懇談、第5弾発表等を終え、滞在時間約90分、羽田発19時30分で帰佐しました。  
羽田発457便搭乗の際、ボーディングブリッジでANA片野坂社長ほか関係者のみなさんが、佐賀のお客様向けに特別横断幕を掲げ、お見送りしていただくというサプライズ演出もあり、タイトな行程を忘れさせるような感慨深い1日でした。

「ANA 人財のチカラを佐賀県で（※ANA グループ社員の佐賀県受け入れ）」が、2月1日にスタートし、山口知事による辞令交付式が行われました。

今回、株式会社 ANA エアサービス佐賀と ANA テレマート株式会社から1名ずつ、佐賀県庁に受け入れを行いました。

山口知事は「佐賀県庁は民間企業経験者を多く中途採用していて、多様な発想を大事にしている。二人もこれまでの経験を活かして自由な発想でチャレンジしてほしい」と、県庁での活躍を期待するコメントを寄せました。

チーム佐賀の新しい仲間として、共に佐賀県を盛り上げていきましょう！

